

# Free R rail

住宅用屋外手すり フリーRレール

## 施工要領書

埋め込み式 G型スタンド (BJ-137STWD/BJ-138STWN/BJ-139STPC  
BJ-140DBWD/BJ-141DBWN/BJ-142DBPC)

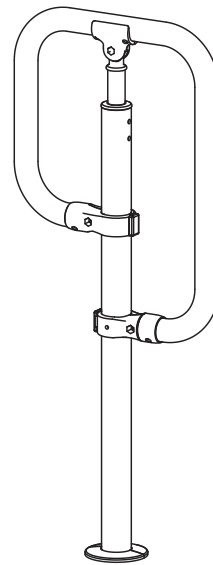
このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前にこの施工要領書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後もすぐ取出せる場所に大切に保管してください。

### 【施工業者様へ】

施工後は、お客様に必ず本書をお渡しください。

### 【お客様へ】

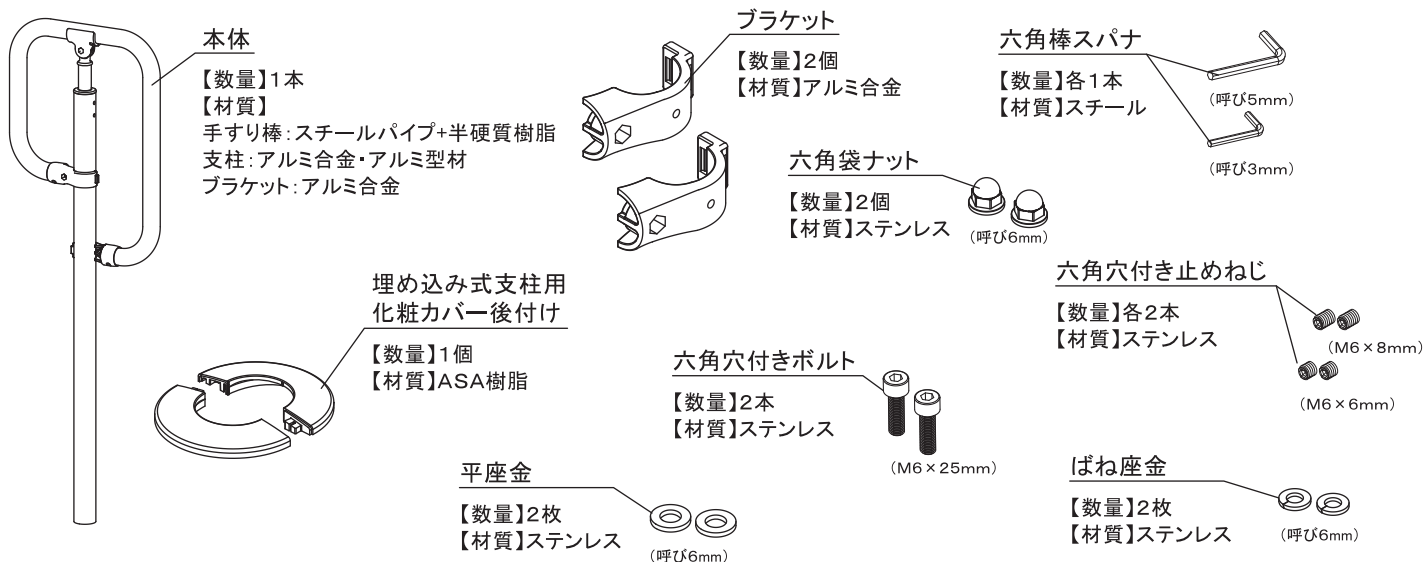
この施工要領書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。  
不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。  
転居される場合、次に入居される方にこの施工要領書をお渡しください。



## マークの種類について

- ⚠ 警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容
- ⚠ 注意 軽傷または物的損害が発生する可能性がある内容
- 🚫 禁止行為
- ❗ 必ず行う

## 部品明細



## 使用上のご注意

- ⊘ 強い衝撃を与えない。

本製品に物をぶつけたり、強い衝撃を与えない。手すり棒がたわんだり、支柱やブラケットが破損し、思わぬケガの原因になる。



- ⊘ 製品に無理な力を加えない。

本製品を無理に押ししたり、引いたりしない。手すり棒がたわんだり、支柱やブラケットが破損し、思わぬケガの原因になる。



- ⊘ 製品に乗ったり、ぶら下がらない。

本製品に乗ったりぶら下がらない。手すり棒がたわんだり、支柱やブラケットが破損し、思わぬケガの原因になる。



- ⊘ 破損があるものは使わない。

手すり部分にささくれ、大きなヘコミ等の破損がある場合はすぐに使用を止める。思わぬケガの原因になる。



## 警告

- ⊘ 火を近づけない。

本製品にタバコなどの火を近づけない。変形、変色の原因になる。



- ⊘ 本製品にささくれ等の破損がある場合はすぐに使用を止めて、施工店、またはマツ六に連絡する。



- ⊘ 支柱のカット以外で製品を分解・改造しない。

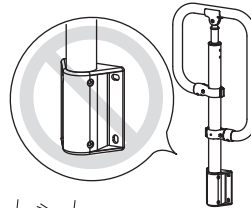
固定部のボルト等をゆるめたり、製品を分解・改造しない。使用時に脱落したり予期せぬ故障の原因になる。また、重大事故につながる場合がある。



## 安全上のご注意

- ⊘ 支柱用側面ブラケットと併用しない。

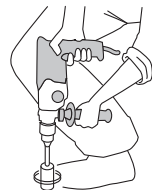
支柱用側面ブラケット(BJ-25ST)または、支柱用側面ブラケットN(BJ-127ST・BJ-128DB)とは併用しない。支柱やブラケットが破損し、思わぬケガの原因になる。



## 警告

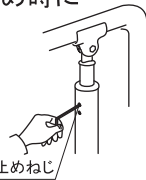
- ⊘ コア抜きは両手だけで行わない。

コンクリートのコア抜きは振動ドリルに膝等を当て、両手だけでは行わない。コンクリート内の鉄筋にコアドリルが当たると、振動ドリルにカウンタートルクが働き、骨折などケガをする恐れがある。



- ⊘ 六角穴付き止めねじは仮止め時に強く締め付けない。

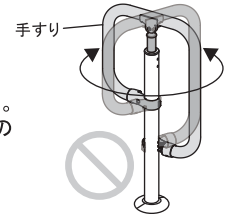
六角穴付き止めねじは仮止め時に強く締め過ぎると支柱にねじ跡が付くことがある。施工が完了するまで、本締めしない。



六角穴付き止めねじ

- ⊘ 手すりを回転させない。

手すりの方向を変える際は、本体ごと回転させて向きを変える。ブラケットと支柱がこすれてキズの原因となる。

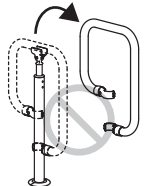


- ⊘ 手すり高さを固定するまでブラケットの養生ははずさない。

手すりの高さ調整時に各部品がこすれてキズの原因となる。

- ⊘ 手すりは支柱からはずさない。

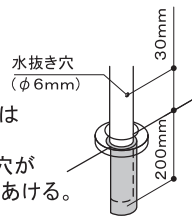
各部品がこすれてキズの原因となる。



## 注意

- ⊘ 支柱には必ず水抜き用の穴があいている状態にする。

支柱に設けられている水抜き用の穴は必ず床上来るようにする。もし施工上、支柱の切断等で水抜き穴がなくなった場合は、新たに水抜き穴をあける。支柱内の破損の原因になる。



- ⊘ 施工時製品に付着した切り粉やモルタルは速やかに清掃する。

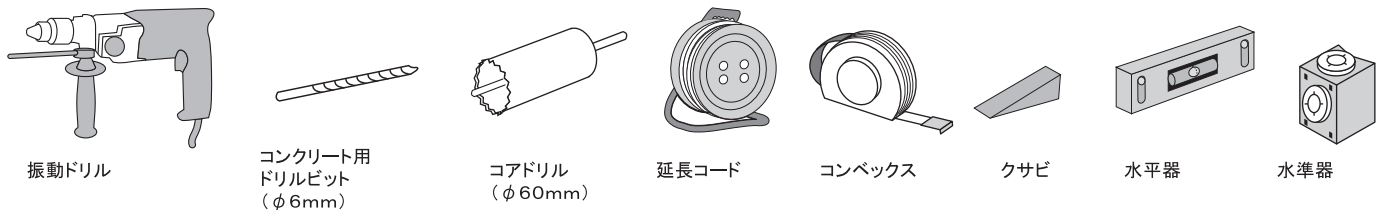
表面にキズがつき腐食の原因となる。



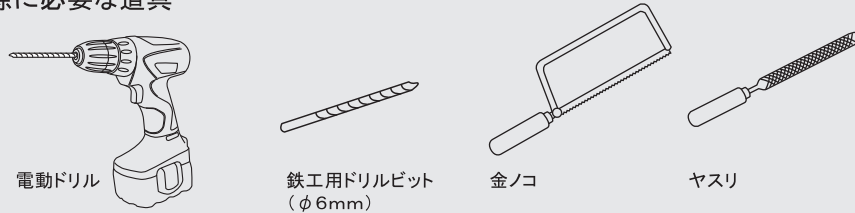
- ⊘ モルタルに急結剤を混ぜない。

また、塩化物を含むモルタル・コンクリートを使用しない。アルミと反応し、支柱を腐食させる恐れがある。

## 施工に必要な道具



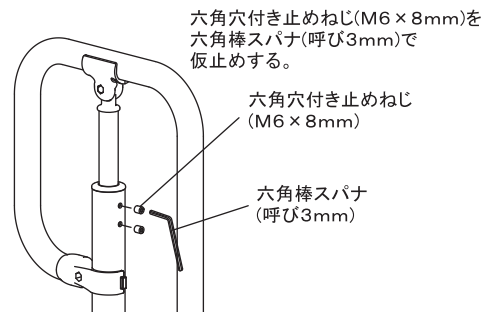
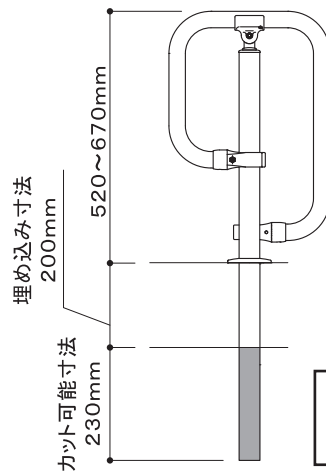
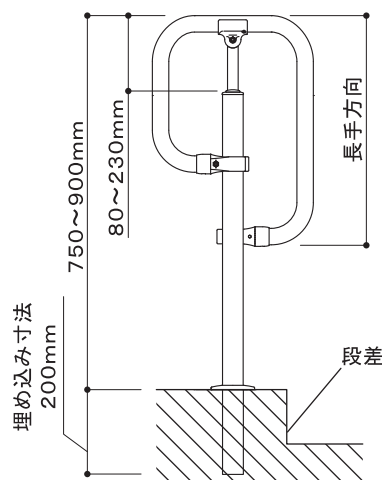
### 支柱をカットする際に必要な道具



## 施工手順

### ① 設置位置と手すり高さを決め仮止めする。

段差がある場合は、段差の下側に手すりの長手方向を向けて設置する。  
手すり高さの調整可能範囲は750~900mm。  
750mm以下にする場合は支柱をカットする。



六角穴付き止めねじ(M6×8mm)を六角棒スパナ(呼び3mm)で仮止めする。

六角穴付き止めねじ(M6×8mm)

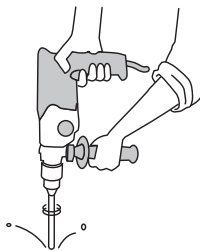
六角棒スパナ(呼び3mm)

六角穴付き止めねじは仮止め時に強く締め過ぎると支柱にねじ跡が付くことがある。  
施工が完了するまで、本締めしない。

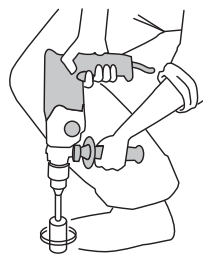
手すりの高さ調整は230mmよりも伸ばさない。  
手すりの固定ができなくなる。

支柱は230mm以上カットしない。  
また、カットする際に手すりは支柱からはずさない。

### ② 振動ドリルで下穴(φ6mm)をあける。

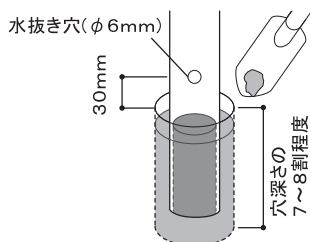


### ③ コアドリル(φ60mm)で深さ220mm以上の穴をあける。



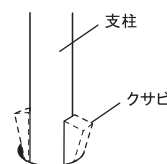
コンクリートのコア抜きは振動ドリルに膝等を当て、両手だけでは行わない。コンクリート内の鉄筋にコアドリルが当たると、振動ドリルにカウンタートルクが働き、骨折などケガをする恐れがある。

④ 穴深さの7~8割あたりまでコンクリートを流し込み、支柱の内部にコンクリートが充填されるよう挿入する。支柱のカット等により水抜き穴がなくなった場合は、あらかじめ新たに床仕上げ面から30mm程度の高さに水抜き穴(φ6mm)をあけておく。

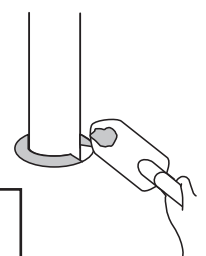


❗ 水抜き穴は必ずあける。

⑤ 支柱が垂直になるようにクサビで調整した後、穴にモルタルを流し込む。



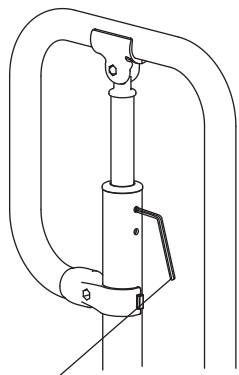
⑥ モルタルが仮硬化したらクサビを取り除いてクサビ跡をモルタルで補修する。



❗ モルタルに急結剤を混ぜない。また、塩化物を含むモルタル・コンクリートを使用しない。アルミと反応し、支柱を腐食させる恐れがある。

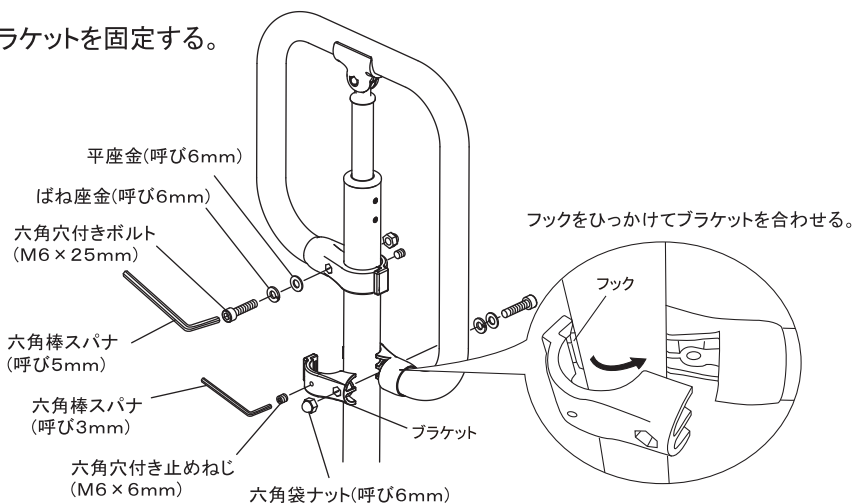
## 施工手順

⑦ 手すり高さを固定する。



六角穴付き止めねじ(M6×8mm)を六角棒スパナ(呼び3mm)でしっかりと締めつける。

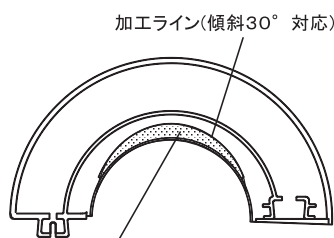
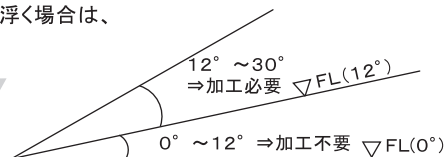
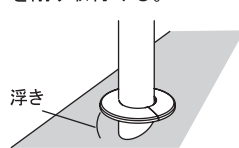
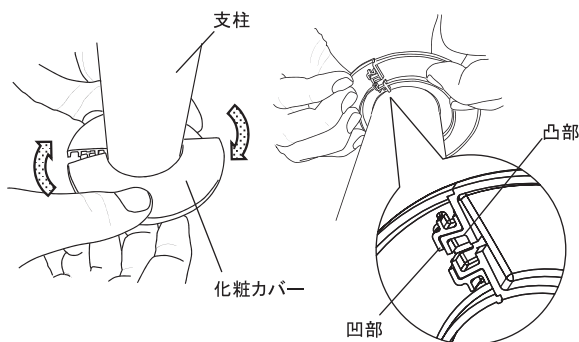
⑧ ブラケットを固定する。



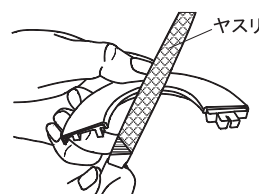
⑨ 化粧カバーを取付ける。

支柱に化粧カバーを挟み、凸部と凹部をはめ合わせる。

設置面に傾斜があり、化粧カバーが浮く場合は、化粧カバーを削り取付ける。



加工可能範囲



支柱とのすき間を確認しながら少しずつ削る。

⑩ ぐらつきが無いことを確認する。

## お手入れ方法

ふだんはやわらかい布で拭く。汚れがひどいときは、中性洗剤をしみこませた布で拭き、その後水拭きをする。仕上げに乾拭きをして、水分を完全に取り除く。

⊘ 酸性、アルカリ性洗剤は使用しない。

⚠ 注意

酸性、アルカリ性洗剤、ベンジン、シンナー等はツヤがなくなったり、変形、変色の原因になるので使用しない。

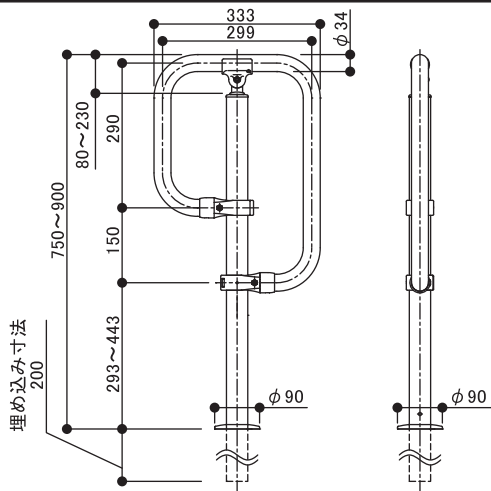


⊘ クレンザー、磨き粉は使用しない。

クレンザーや磨き粉はなど粗い粒子を含んだ洗剤、ナイロンタワシなどの傷を付けやすいものは使用しないでください。



## 基本仕様



品名:フリーRレール 埋め込み式 G型スタンド

材質:手すり棒/スチールパイプ+半硬質樹脂 支柱/アルミ合金・アルミ型材、  
ブラケット/アルミ合金、カバー/ASA樹脂

原産国:日本

寸法:図参照

(単位:mm)

**マツ六株式会社**

〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号  
TEL:06-6774-2255 FAX:06-6774-2248  
<https://www.mazroc.co.jp/>

2024年1月5日改定【03】